



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 スガイ化学工業株式会社
 コード番号 4120 URL <https://www.sugai-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野間 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部長 (氏名) 南 隆宏 TEL 073 (422) 1171
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,144	30.8	152	128.9	175	114.1	151	107.2
2021年3月期第1四半期	875	△16.4	66	—	82	—	73	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	110.69	—
2021年3月期第1四半期	53.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,491	5,967	56.9
2021年3月期	11,599	6,007	51.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 5,967百万円 2021年3月期 6,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,800	△1.1	190	△5.4	210	0.7	170	12.8	124.12
通期	6,200	3.2	350	△30.0	360	△32.4	320	0.7	233.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	1,373,000株	2021年3月期	1,373,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,391株	2021年3月期	3,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	1,369,609株	2021年3月期1Q	1,369,681株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
3. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響の長期化により、厳しい状況で推移しました。

景気の先行きについては、感染拡大の対策や、ワクチン接種を促進する中で、社会経済活動の正常化に向け成果を上げつつあるものの、変異ウイルスの感染拡大等が懸念されており、依然、不透明な状況にあります。

このような状況の中で、国内売上高は、1,100百万円と前年同期（693百万円）に比べ、406百万円（58.7%）の大幅な増収となりました。これは、機能性中間物は大幅に減少しましたが、医薬中間物及び農薬中間物も揃って大幅に増加したためです。

一方、輸出売上高は、44百万円と前年同期（181百万円）に比べ137百万円（75.6%）の大幅な減収となりました。これは、医薬中間物が大幅に減少したためです。

この結果、総売上高は1,144百万円となり、前年同期（875百万円）に比べ269百万円（30.8%）の大幅な増収となりました。また、輸出比率は3.9%（前年同期 20.7%）となりました。

利益につきましては、原料価格の上昇、固定費の増加等はありませんでしたが、総売上高の増収、売上原価率の改善及び工場稼働が順調に推移したこと等により、営業利益は152百万円（前年同期 66百万円）となりました。営業外収益では、受取配当金22百万円等もあり、経常利益は175百万円（前年同期 82百万円）、四半期純利益は151百万円（前年同期 73百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,107百万円減少の10,491百万円となりました。これは主に、商品及び製品が263百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,298百万円、投資有価証券が時価の変動等により179百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ1,067百万円減少の4,523百万円となりました。これは主に、借入金が604百万円、未払法人税等が116百万円減少したことなどによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ40百万円減少の5,967百万円となり、自己資本比率は56.9%（前事業年度末 51.8%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の第2四半期累計期間の業績予想につきまして、新製品の寄与、工場稼働が順調に推移したことによる原価率改善及び下期販売予定の製品の上期への前倒し販売になる見込み等の要因により、売上高2,800百万円、営業利益190百万円、経常利益210百万円、当期純利益170百万円に修正いたしました。

なお、通期業績につきましては、2021年5月7日の決算発表時に公表いたしました予想数値を据え置くことといたします。

今後も当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、不透明な状況が予想されますが、受注活動の強化に加え、原料調達を確実にを行うことにより工場稼働の安定、向上を強力に推進し、今後とも業績改善に取り組んでまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,074	761,537
受取手形及び売掛金	2,736,955	1,438,822
商品及び製品	1,145,024	1,408,528
仕掛品	187,568	227,591
原材料及び貯蔵品	650,218	659,083
その他	45,046	228,792
貸倒引当金	△8,251	△4,380
流動資産合計	5,547,635	4,719,974
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	638,828	636,881
機械及び装置（純額）	1,461,910	1,456,582
土地	1,328,624	1,328,624
その他（純額）	660,371	588,648
有形固定資産合計	4,089,734	4,010,736
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,577	1,677,623
関係会社株式	3,819	3,819
その他	108,764	87,388
貸倒引当金	△14,165	△14,165
投資その他の資産合計	1,955,995	1,754,664
固定資産合計	6,051,548	5,771,218
資産合計	11,599,183	10,491,192
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,050	767,603
短期借入金	1,400,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	393,552	378,752
未払法人税等	136,712	20,653
未払費用	636,753	701,842
賞与引当金	86,277	42,599
その他	649,861	247,900
流動負債合計	4,002,208	3,059,350
固定負債		
長期借入金	1,011,829	921,841
退職給付引当金	417,926	425,399
その他	159,350	116,853
固定負債合計	1,589,106	1,464,094
負債合計	5,591,314	4,523,444

（単位：千円）

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	874,379	984,888
自己株式	△5,339	△5,339
株主資本合計	5,395,582	5,506,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	616,300	469,050
繰延ヘッジ損益	△4,014	△7,394
評価・換算差額等合計	612,286	461,655
純資産合計	6,007,868	5,967,747
負債純資産合計	11,599,183	10,491,192

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
売上高	875,199	1,144,866
売上原価	625,349	805,265
売上総利益	249,849	339,601
販売費及び一般管理費		
発送運賃	7,595	5,245
従業員給料及び手当	71,655	71,332
賞与引当金繰入額	10,440	10,575
退職給付費用	4,493	4,386
その他	89,150	95,822
販売費及び一般管理費合計	183,335	187,361
営業利益	66,514	152,240
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	21,568	22,869
為替差益	2,318	1,854
保険解約返戻金	—	8,159
その他	899	933
営業外収益合計	24,798	33,828
営業外費用		
支払利息	2,819	3,685
休止固定資産維持費用	4,367	4,102
その他	2,024	2,495
営業外費用合計	9,211	10,283
経常利益	82,101	175,785
特別損失		
固定資産除却損	3,755	2,869
特別損失合計	3,755	2,869
税引前四半期純利益	78,345	172,915
法人税、住民税及び事業税	5,259	21,406
法人税等調整額	△91	△87
法人税等合計	5,167	21,318
四半期純利益	73,177	151,597

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しました。これにより、当社が有償支給先となる有償支給取引のうち有償支給元が当該支給品を買い戻す義務を負っている取引については、当第1四半期会計期間の期首から従来の有償支給元への売り戻し時に顧客から受け取る対価の総額を収益として認識する方法から、当該有償支給取引に係る支給品の仕入相当額を対価の総額から控除した純額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、利益剰余金期首残高及び当第1四半期累計期間の損益に与える影響はありません。また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という）等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 補足情報

(生産及び販売の状況)

当社は、単一セグメントであるため、製品の種類別ごとの生産及び販売の状況を記載しております。

① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
医薬中間物	210,685	19.4	160,640	11.8
農薬中間物	561,877	51.8	1,060,756	77.8
機能性中間物	179,726	16.6	41,261	3.0
界面活性剤	105,800	9.8	101,301	7.4
その他	26,840	2.4	—	—
合 計	1,084,930	100.0	1,363,959	100.0

② 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
医薬中間物	184,562	21.1	133,536	11.7
農薬中間物	187,565	21.4	808,705	70.6
機能性中間物	364,653	41.7	72,426	6.3
界面活性剤	111,059	12.7	99,891	8.7
その他	27,359	3.1	30,308	2.7
合 計	875,199	100.0	1,144,866	100.0